

## 静岡労組への檄

新潟労働金庫労働組合  
青年部長 真島 伸明

年間一時金について、アール・ワンシステム移行直前・直後対応での職員の奮闘を踏まえ、正職員・準職員に対し、昨年実績の業績手当に 0.1 ヶ月を上乗せした月数を要求として掲げたこと、そして一時金が制度化されていない雇用形態においても 0.1 ヶ月相当の支給を求めたことに共感しました。

金庫を取り巻く厳しい経営環境や中期的な見通しについて理解できるものの、アール・ワンシステム移行直前・直後対応での職員の努力・奮闘や、今後も安定稼動に向けて更なるパフォーマンスが求められ、相当の負担により疲弊は激しさを増すこともあり、すべての労金労働者の金庫に対する貢献は、評価されるべきだと思うからです。

新潟労組でも同様の観点から、年間一時金については前年度と同水準で要求します。これまで献身的に頑張ってきた職員の努力が報われるよう、ともに頑張りましょう。